

# 今後の気象の見通し



日本気象株式会社

Earth Communication Provider

2013.3

# 今冬(12~2月)の状況

## ○北～西日本にかけて低温

北～西日本にかけて、寒気の影響により気温が低い日が多く、冬の平均気温は低かった。北～東日本では2年連続、西日本では3年連続の寒冬となった。

## ○北～西日本にかけて降水量が多かった

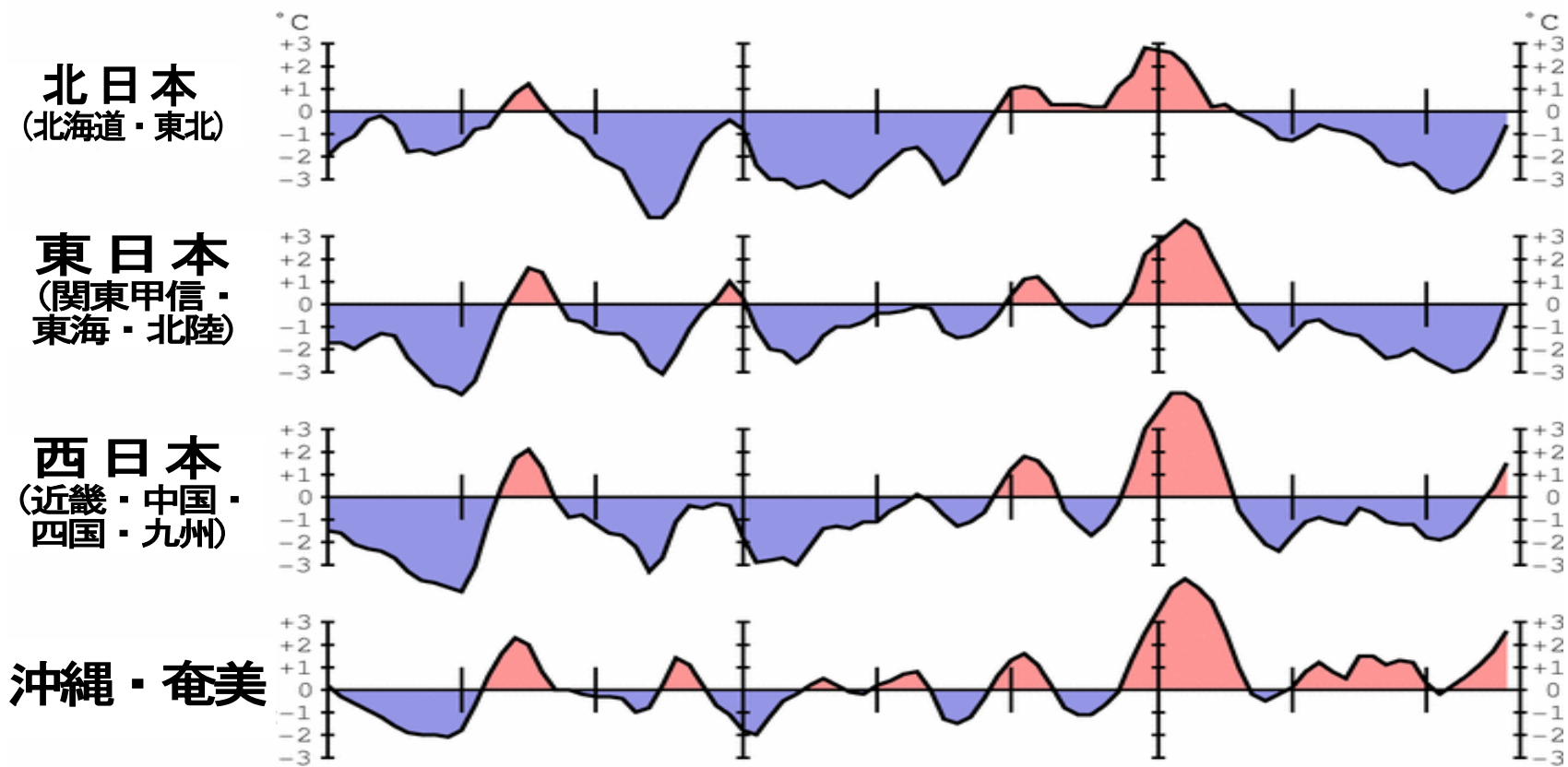
冬型の気圧配置となった日が多かったため、北～西日本にかけての日本海側では降水量が多く、北日本日本海側の日照時間は少なかった。また、低気圧の影響を受けやすかったため、北日本太平洋側、西日本太平洋側でも降水量が多く東日本太平洋側でも雪の降る日もあった(南岸低気圧)。

## ○北日本日本海側では所々で記録的な積雪

北日本では、寒気の影響により低温となった日が続き、日本海側を中心に降雪量が多かった。このため、青森県の酸ヶ湯で積雪の深さが566cmとなるなど、北日本日本海側を中心にアメダス12地点で年最深積雪の大きい方からの1位の値を更新し、記録的な積雪となった。

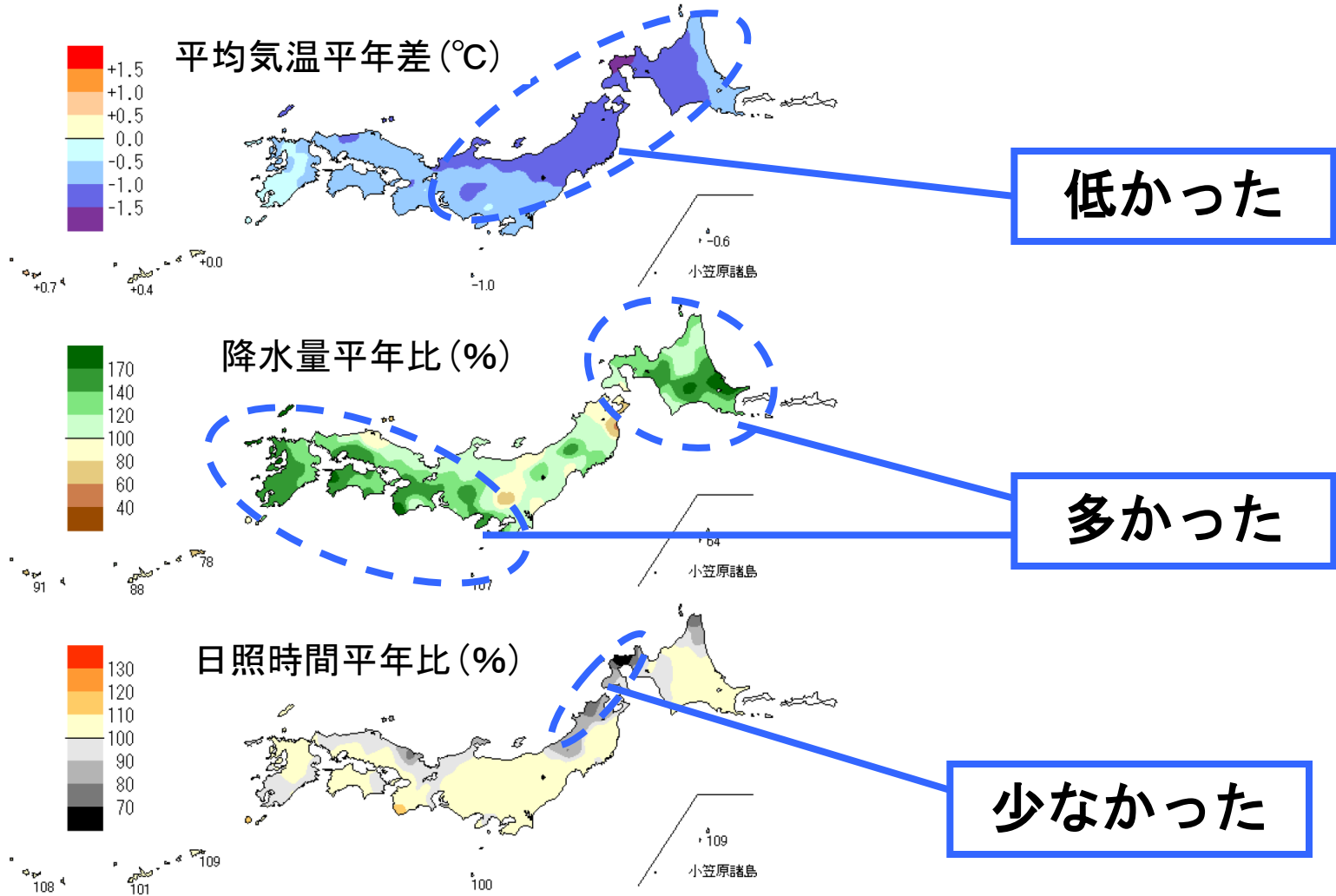
# 今冬(12~2月)の気温の状況

2012/13年      12月      1月      2月  
 上旬   中旬   下旬      上旬   中旬   下旬      上旬   中旬   下旬



地域平均気温平年偏差の5日移動平均時系列図

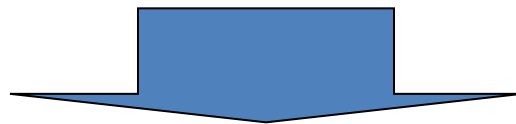
# 各地域の、12~2月の気温・降水量・日照時間(平年との差)



# 2013年春(3~5月)の天気の動向

## ○大気および海上の状況

- ・ 東部太平洋赤道域では海面水温が平年より低い値がしばらく続く(ラニーニャ傾向)が、春の間にこの傾向は弱まり、ラニーニャ現象の発生には至らない可能性が高い。
- ・ 3月を中心に偏西風が日本付近で南に蛇行、日本の東海上で北上する傾向。



3月・・・北日本日本海側は曇りや雪、雨の日が多い。  
北日本太平洋側や東～西日本は周期変化で、太平洋側では晴れの日が多い

4～5月・・・全国的に天気は周期変化。西日本を中心に晴れの日が多い

# 2013年3月の天候の特徴

○低気圧と高気圧が交互に通る

○低気圧の通過後は寒気が南下し、北日本中心に一時的に冬の気圧配置となる

		気温	降水量	日照時間
北日本	日本海側	並み	多い	少ない(並み)
	太平洋側	高い(並み)	多い	少ない(並み)
東日本	日本海側	並み	並み	少ない
	太平洋側	高い(並み)	並み	少ない
西日本	日本海側	並み	並み	並み
	太平洋側	並み	並み	並み
沖縄・奄美		低い	少ない	並み

# 2013年4月の天候の特徴

○低気圧と高気圧の影響を交互に受け、天気は数日の周期で変わる

○南へ行くほど寒気の影響を受けやすい

		気温	降水量	日照時間
北日本	日本海側	高い	並み	並み
	太平洋側	高い	並み	並み
東日本	日本海側	並み	並み	並み
	太平洋側	並み	並み	多い(並み)
西日本	日本海側	並み	並み	多い
	太平洋側	並み	並み	多い
沖縄・奄美		低い	少ない	並み

# 2013年5月の天候の特徴

○4月同様に低気圧と高気圧の影響を交互に受け、天気は数日の周期で変わる

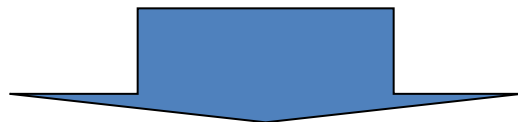
○日本付近の偏西風の蛇行は3月にくらべ小さく、西側で南に蛇行し、南から湿った空気が入りやすい

		気温	降水量	日照時間
北日本	日本海側	高い(並み)	並み	並み
	太平洋側	高い(並み)	多い	並み
東日本	日本海側	高い(並み)	並み	並み
	太平洋側	高い(並み)	多い	多い(並み)
西日本	日本海側	高い	並み	並み
	太平洋側	高い	並み	並み
沖縄・奄美		並み	並み	多い(並み)



# 2013年春(3~5月)の予報(まとめ)

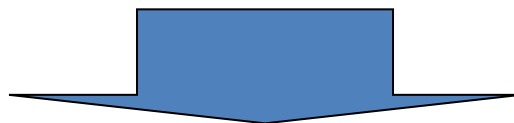
- ・ 東部太平洋赤道域の海面水温が平年より低い状態がしばらく続くが、春の間にこの傾向は弱まり、ラニーニャ現象の発生には至らない
- ・ 3月は**寒気の影響**を受けやすく、5月も**寒気の南下**が見込まれる
- ・ 4~5月は低気圧と高気圧が交互に通過



- 寒気の南下による影響
  - ・ 寒暖の差が大きくなり**遅霜**、多積雪地域での**融雪増水**
  - ・ 気温低下による**生育不良**
  - ・ 短時間の**激しい雨**、**落雷**、**突風**、**降ひょう**、**竜巻**
- 急速に発達する低気圧(メイストーム)の影響
  - ・ 短時間の**激しい暴風雨**、**落雷**、**突風**、**降ひょう**、**竜巻**

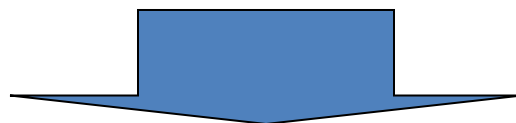
# 2013年夏(6~8月)の大気・海洋の動向

○エルニーニョ監視海域の海面水温は平年の値に近い



エルニーニョ/ラニーニャ現象は発生しない

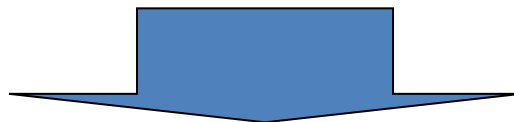
○フィリピン付近の対流活動が活発



太平洋高気圧は北～西日本への張り出しが強まる

# 2013年夏(6~8月)の大気・海洋の動向

○オホーツク海高気圧の影響を受ける時期は一時的



北～東日本太平洋側を中心とした低温も一時的

# 2013年夏(6~8月)の天候①

## ○天気

- ・ 北～西日本では6～7月は平年同様に曇りや雨の日が多いが、8月は平年と同様に晴れの日が多い
- ・ 沖縄・奄美では6月は平年同様に曇りや雨の日が多いが、7～8月は平年に比べ晴れの日が少ない

## ○降水量

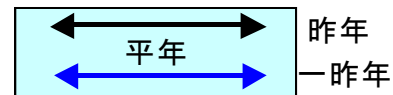
- ・ 北～東日本ではやや少雨傾向。西日本は平年並み。ただし、局地的な豪雨に要注意
- ・ 沖縄・奄美では高気圧の縁辺を回る湿った気流の影響を7～8月に受けやすく多雨傾向

# 2013年夏(6~8月)の天候②

## ○気温

- ・北～西日本では太平洋高気圧の影響がやや強く**高温傾向**
- ・北～東日本太平洋側を中心に**低温になる時期**がある
- ・沖縄・奄美では太平洋高気圧の影響が平年並から平年より弱く、気温は平年並の見込み

# 各地の梅雨の状況



	入り	4月				5月				6月				7月				明け	日数	平年日数
		04/21	04/30	05/01	05/10	05/20	05/31	06/01	06/10	06/20	06/30	07/01	07/10	07/20	07/31					
東北北部	06/09																	07/26	47	44
	06/21																	07/09	18	
東北南部	06/09																	07/26	47	43
	06/21																	07/09	18	
北陸	06/09																	07/26	47	42
	06/18																	07/09	21	
関東甲信	06/09																	07/25	46	43
	05/27																	07/09	43	
東海	06/08																	07/23	45	43
	05/22																	07/08	47	
近畿	06/08																	07/16	38	44
	05/22																	07/08	47	
中国	06/08																	07/17	39	44
	05/21																	07/08	48	
四国	06/02																	07/17	45	43
	05/21																	07/08	48	
九州北部	05/30																	07/23	54	44
	05/21																	07/08	48	
九州南部	05/30																	07/23	54	44
	05/23																	07/08	46	
奄美	05/13																	06/29	47	49
	04/30																	06/22	53	
沖縄	05/13																	06/23	41	45
	04/30																	06/09	40	

# エルニーニョ/ラニーニャ現象

## エルニーニョ現象

平均気温：北日本・東日本・西日本で低い傾向

降水量：北日本太平洋側・西日本日本海側で多い傾向

日照時間：北日本・西日本太平洋側・沖縄・奄美で少ない傾向

## ラニーニャ現象

平均気温：沖縄・奄美で低く、北日本で高い傾向

降水量：東日本太平洋側・西日本太平洋側で多い傾向

日照時間：北日本で多く、東日本日本海側では少ない傾向

# 終了

※本資料は、気象庁発表資料を基に作成しました。



日本気象株式会社

Earth Communication Provider

2013.3